

年頭のごあいさつ

謹んで新年の

お慶びを申し上げます

町

民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい平成二十七年の初春を、ご家族お揃いで健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年私は町民皆様の温かいご支援のもと、無投票当選という身に余る特段のご支持を賜り、悠久の歴史と伝統に輝く上ノ国町の町長として、引き続き町政を担わせていただくことになりました。

私は平成十四年に町長就任以来今日まで、私の町政執行の基本姿勢である「わたしたち町民一人ひとりが現状を自覚し、そして一人ひとりがこの町を変える」という意思を表してくれる」ということを確信し、行財政の見直しと改革に議会、町民の皆様と手を携えて渾身の努力をして参りました。この間、皆様からいた

いただきました深いご理解と、絶大なるご協力に對しまして心から感謝申し上げます。

さて、過ぎし平成二十六年を振り返りますと、日本経済は、昨年四月に消費税率を八パーセントに引き上げたことにより景気が後退し、本年十月から実施する予定だった消費税率十パーセントへの再引上げは平成二十九年四月まで先送りすることとなりました。このため昨年十一月、安倍首相は国民に審判を仰ぐという名目で衆議院を解散いたしました。総選挙の結果、与党が解散前を上回る議席数を確保いたしました。今年度の日本経済が好転することを願うものであります。

社会面では、広島県で局地的な短時間大雨により大規模な土砂災害が発生、また長野県と岐阜県の県境にある御嶽山が噴火し、ともに大勢の方がお亡くなりになりましたが、



上ノ国町長
工藤 昇

自然の恐ろしさを痛感した一年でもありました。

スポーツ面では、ロシアのソチで開催された冬季オリンピックで日本はメダル八個を獲得しましたが、金メダルはフィギュアスケートの羽生結弦選手が唯一でありました。また、テニスの錦織圭選手は世界四大大会の一つである全米オープンで決勝に進出する快挙を達成し世界ランク五位にランクインされるなど日本の若者が世界で活躍してくれました。

文化面では、青色発光ダイオード(LED)を開発した名城大学の赤崎勇教授と名古屋大学の天野浩教授、米カリフォルニア大学サンタバーバラ校の中村修二教授の三人がノーベル物理学賞を受賞され

ました。

続いて、町内の出来事を振り返りますと、七十八年の歴史とともに歩んできたJR江差線(江差・木古内間)が昨年五月に幕を閉じ路線バスに移行されました。廃線セレモニーでは多くの町民や鉄道ファンが別れを惜しんでいました。また、民間事業者が八幡牧野に建設中でありました風力発電施設「上ノ国ウインドファーム」が四月から本格稼働し、本町の新たなシンボルとなりました。

次に、上ノ国中学校男子バレーボール部が、本町中学校の団体スポーツで初めて中体連全道大会で優勝し、全国大会への出場を果たしました。バレー部に続くよう各スポーツでの頑張りを期待します。

未